



草加市議会議員

草加市の「未来の扉」を皆さんと開く

関

せき
かずゆき

一

幸

市政報告



<http://www.wan-happy.jp>

真新しいランドセルや制服に身を包み、初々しい笑顔を見せながら通学する子供たちを見かける季節になりました。

新年度を迎え、心機一転、新たな環境や立場でこれからの将来に夢や希望を抱きながら、それぞれのスタートを切られた事と思います。

埼玉県民の一人として、新年度早々嬉しいニュースも飛び込んで来ました。第85回選抜高校野球大会で、浦和学院が埼玉県勢では45年ぶり2度目となる優勝を果たしました。

手に汗握る熱闘の数々に、興奮を覚え高校球児達の気迫のこもった素晴らしいプレーの数々に多くの皆さんが、勇気と感動を与えられた事と思います。

さて、草加市でも市議会2月定例会で、平成25年度当初予算が原案どおり可決され新年度がスタートしました。「誰もが安心できる支え合いのまちをつくる」「生き生きと学び・育つまちをつくる」「訪れたくなる・出歩きたくなるまちをつくる」の3つの重点施策をもとに様々な事業が展開されます。

依然として厳しい財政状況にはあるものの、田中市長の公約にあった新規の事業も次々と実施され、更なる市民福祉の向上につながるものと期待をしています。進捗状況を見守りながら、しっかりと意見・提言すべきことは伝え、今後の事業展開を注視してまいります。

2月定例会で審議された議案の主なものや新たな事業の内容など一部抜粋し記載をいたしましたのでご覧いただき、ご意見やご提言をいただければ幸甚に存じます。



草加市議会議員
建設環境委員長
関 一幸

平成 25 年 2 月定例会提出議案について

平成 25 年度予算について

平成 25 年度一般会計予算 673 億 6600 万円 前年度比 0.9%減
地域の豊かさの創出を目指して

平成25年度は、「誰もが安心できる支え合いのまちをつくる」「生きいきと学び・育つまちをつくる」「訪れたくなる・出歩きたくなるまちをつくる」の3点を重点施策として実施します。

誰もが安心できる支え合いのまち

- ◆保育園耐震補強事業 ◆草加駅東側都市防災広場の整備 ◆綾瀬川左岸防災公園の整備
- ◆公共交通網の整備に向けた検討 ◆八潮市との消防広域化を推進 ◆市役所第二庁舎・水道部の建替え

生き生きと学び・育つまち

- ◆市内全小中学校にエアコンを設置 ※H26年度から稼働開始 ◆トイレ環境改善整備事業
- ◆いじめ撲滅推進事業 ◆栄小学校建設工事 ◆予防接種事業（※対象者無料接種）

訪れたくなる・出歩きたくなるまち

- ◆新田駅周辺整備事業の推進 ◆松原近隣公園の整備◇音楽都市宣言 20 周年記念イベント
- ◆(仮)谷塚西文化センター建設工事 ◆今様・草加宿事業 ※旧道モデル地区電線地中化

提出議案 36 件を可決

平成 24 年補正予算案9件、平成 25 年当初予算案 11 件、
条例案 10 件等、合計 36 議案を、市長提出のとおり可決！！

◆草加市路上喫煙の防止に関する条例の制定について

喫煙者のマナー・モラルの向上を図り、安全で快適な生活環境の確保を推進します。

◎路上喫煙禁止区域の指定⇒新田駅東西口、谷塚駅西口を除く各駅の半径 200m を予定（※喫煙所も設置予定）

◎違反者に対する罰則⇒過料 1,000 円以下

◎施行日：平成 25 年 10 月 1 日（※禁止区域指定は公布の日から。罰則規定は平成 26 年 4 月 1 日から）

☆施行までの期間、禁止区域内では指導員が路上喫煙防止の啓発活動を行い、マナー向上に努めます。

◆草加市土砂等の堆積の規制に関する条例の制定について

埼玉県条例の規制対象未満（500㎡以上～3,000㎡未満）の土地について、許可制による規制を行い、安全の確保・生活環境の保全に努めます。

◎対 象：500㎡以上～3,000㎡未満の土地

◎概 要：土砂等の高さ、法面の勾配、排水施設、防護壁等について基準を定め、許可制とします。

◎施行日：平成 25 年 7 月 1 日

米菓製造業等における加工用米の安定供給を求める意見書が全会一致で可決！！

現在、草加せんべいを初めとする日本の伝統食品の主原料となる加工用米の供給不足や価格高騰によって国内の食料品製造を営む中小企業は大変厳しい状況にあります。そのような状況を受け全会派の共同提案という形で米菓製造業等における加工用米の安定供給を求める意見書が議員提出議案として上程され審議・可決されました。

内容は、

- 1 加工用米の供給量が増加するよう対策を講ずること
- 2 加工用米需要者に十分な量の加工用米が行き渡るよう、政府備蓄米を加工用米として定期的に販売すること
- 3 加工用米の販売価格の安定化・適正化につながるよう、政府備蓄米の販売対象を加工用米需要者団体に拡大するなどの制度の見直しを講ずること

です。なお、「本場の本物」に認定されている草加せんべいには、関東近県6県で収穫された食用にも使用される良質のうるち米が100%使用されています。

皆様のご意見・ご要望をお聞かせください。

TEL:048-923-1188 FAX:048-927-8818



草加市議会議員 草加市の「未来の扉」を皆さんと開く

関

せき
かずゆき

一幸

市政報告



<http://www.wan-happy.jp>

「つよいまち・草加」の実現に向けて ～「地域の豊かさ」を創出～

草 加 市 政 報 告

○地域の豊かさの創出を最優先に考える

○資源を有効に活用する

○つよいまちをつくる

「このまちに暮らして良かったと思えるまちづくりを」

少子高齢化が進行し、草加市においても人口減少が予想されています。

今後は、効率性を重視する取組に加え、まちの魅力や付加価値を高めるとともに、新たな草加市の資源を見つけたすだけでなく、人的・物的な様々な資源を融合することで新しい力や価値を創造していくことも必要となります。また、環境面（防災・防犯・環境）、社会面（健康・子育て・文化）、経済面（観光・産業・雇用）のバランスの取れたまちづくりを進め、地域の豊かさの創出に努めます。

平成 25 年度は、これまでの成果を踏まえながら、将来に向けた政策の展開を行っていきます。

地域経営指針 理念

平成 25 年度に実施する主な事業

子どもの健やかな成長



《栄小学校イメージパース》

◎栄小学校校舎改築工事の完成（H26.4 開校予定）

⇒市内小中学校の校舎・屋内運動場の耐震化率 100% を達成します。

◎(仮)谷塚西文化センター完成（H26.4 開所予定）

◎保育所の耐震補強を推進

⇒順次、耐震診断を実施し、必要な措置を講じます。

◎市内全小中学校の普通教室にエアコンを設置

⇒平成 25 年度中に設置し、平成 26 年度から稼働を予定しています。

◎いじめ撲滅推進事業

⇒児童生徒が安心して心豊かな学校生活を送れるよう、取組を進めます。

安全安心な生活環境

◎路上喫煙防止活動の開始⇒新田駅東西口・谷塚駅西口を除く各駅半径 200m を禁止区域と定めます。10 月 1 日施行に向け、指導員を配置し、周知活動を行います。

◎公共交通網の整備に向けた検討開始⇒交通弱者の移動手段を確保するため公共交通再編計画を策定し、コミュニティバスの導入など、新たな交通体系の構築を検討します。

安全安心な生活環境



《草加市金明専用グラウンド・ゴルフ場》

快適な都市環境の整備



《松原近隣公園 イメージ図》

※イメージで実際とは異なります。

◎放置自転車対策の推進

⇒放置防止指導や撤去作業を行うとともに、短時間利用者の二輪車を踏まえ、駐輪ラック等の設置など、効果的な対策を実施します。

◎高齢者の生活支援を充実

⇒「高齢者地域見守りネットワーク事業」「救急ネット」「ちょこっと手助けサービス」など、高齢者を社会全体で支援する取組を充実します。

◎新田駅周辺整備事業の推進

⇒新田駅東西口の土地区画整理事業を推進し、駅周辺の利便性の向上、良好な住環境の整備を行います。

◎都市の骨格づくりを推進

⇒都市計画道路谷塚松原線、回向院通り、綾瀬川左岸道路の整備を行い、平成 25 年度末には供用を開始します。また、草加駅東側都市防災広場、綾瀬川左岸防災公園、松原近隣公園（UR 施行）などの整備を実施します。

◎公共施設の耐震化を推進

⇒市役所第二庁舎、水道庁舎の建替えに着手します。本庁舎については、耐震補強・建替えについて、耐震診断の結果を受け検討していきます。

県立草加かがやき特別支援学校！！

平成 25 年 4 月に県立草加かがやき特別支援学校が開校されました。先日、内覧会が開催され担当者の説明を受けながら視察して参りました。

県内の特別支援学校はこの草加かがやきを入れて計 35 校となります。松原小学校旧校舎（前 花栗小学校）を改築し草加市では初となる特別支援学校です。

対象者は知的障がいのある児童、生徒が対象となり小学部、中学部、高等部がそれぞれ設けられ市内外から約 220 名の児童、生徒数を見込んでいます。

なお、この学校は、県立特別支援学校では初めて小学校の旧校舎を活用し開校する特別支援学校で、小学校の特性を生かしつつ、特別支援学校の仕様にするため以下のような工夫がされ、施設設備が充実しています。

- (1) 小学校プールを改修した県立特別支援学校初の 25m プール
- (2) 教室数を確保するため、中央棟（図書コーナー、PC 室、事務室、職員室等）を増設
- (3) 各学部の学習に対応できる特別教室を配置（調理室、美術室、自立活動室等）
- (4) 作業学習用の特別教室を整備（木工、陶芸、レザークラフト、手工芸、ビルメンテナンス等）
- (5) スクールバス乗降場、エレベーター、遊具広場の増設

県立の学校ではありますが地域の協力・支援なくして学校運営はできません。市も一定の関係性を保ちながら素晴らしい学校になるよう我々も今後の取り組みに関心を寄せて参りたいと思います。

